

企画展「仙台に残されていた関東大震災の記録：100年の時を経て特別公開」を開始 (2023/9/15～)

テーマ：関東大震災、仙台市、宮城県、歴史学
会場：災害科学国際研究所（仙台市）

関東大震災から100年のタイミングである2023年9月15日、災害科学国際研究所棟2階展示スペースにおいて、企画展「仙台に残されていた関東大震災の記録：100年の時を経て特別公開」が開始されました。同企画展では、仙台で保存されている関東大震災に関する貴重な映像や当時の記事とともに、当研究所の川内淳史准教授・佐藤大介准教授（共に歴史文化遺産保全学分野）が、歴史学の立場から関東大震災当時の『河北新報』記事等を分析したパネルも展示されています。

今から100年前に起きた関東大震災は、東京・神奈川などの被災地を中心に議論されることが主でしたが、その影響は被災地をはるかに超え、仙台・宮城県にも及んでいました。本展示では、宮城県でも被災者の受け入れや被災地支援を行ったこと、社会的影響や混乱があったこと、また、関東大震災が日本列島の政治・経済のパワーバランスを大きく変え、仙台の都市計画をも変えていったことなどが示されています。

本企画展は、12月22日まで開催予定です。

<企画展「仙台に残されていた関東大震災の記録：100年の時を経て特別公開」>

主 催：東北大学災害科学国際研究所
NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台
歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業東北大学拠点

共 催：東北大学史料館

分析・解説：東北大学災害科学国際研究所 歴史文化遺産保全学分野
川内淳史 准教授 佐藤大介 准教授

パネル作成協力：

東北大学災害科学国際研究所 広報室
中鉢奈津子特任准教授、鈴木通江職員、福島愛子職員
小森光職員（パネルデザイン）

協 力：関東大震災100年発信タスクフォース
IRIDeS オープンフォーラム WG メンバー

期 間：2023年9月15日（金）～12月22日（金） ※月～金 10:00～16:00
会 場：東北大学災害科学国際研究所 2 階展示スペース

<https://irides.tohoku.ac.jp/access/>

関連サイト：https://irides.tohoku.ac.jp/event/greatkanto-eg_sympo/index.html

